

(参考) 新技術モデル工事の活用後の評価について

○県内関連技術登録技術については、登録審査の際、下記による分けを行います。

区分A・・・一般の公共工事で活用可能な新技術

区分B・・・新技術の現場における適用性及び活用の効果等を検証するために行う工事  
(以下「新技術モデル工事」という。)で活用する新技術

※県内活用技術及びその他技術については、分けを行いません。

○区分Bで登録された技術は、活用後に評価を行うことにより活用区分を変更(区分B→区分A)する場合があります。この場合の判定基準は、下記のとおりです。

「活用後評価による活用区分の判定基準」

下記のいずれかに該当する場合は、活用区分をAとする。

1. 3件継続して、工程、品質・出来形、安全性、施工性の5項目(経済性を除く)の評価点数全てが100点以上(従来技術同等以上)となったもの

2. 5件継続して、工程、品質・出来形、安全性、施工性の5項目(経済性を除く)の評価点数の平均が100点以上となったもの

3. 技術調整委員会にて活用後評価を審議し、技術の成立性が確認された技術

※100点が従来技術と同じ評価となります。

※評価項目は、下記のとおりです。

○評価項目

調	経済性	単位当たりの関係するコスト(施工費、維持管理費等)と従来技術を使った場合の概算コストを比較する。					
			従来技術	新技術	コスト差		
査	工程	コスト(当り)	千円	千円	千円		
		評価点 $=100+100 \times \text{コスト差} / \text{従来技術コスト}$ $=100+100 \times \quad / \quad = \quad (\text{点})$					
項	目	従来技術と新技術の対応する施工サイクルについて、施工単位当りの実施施工日数と従来技術の施工日数(概算)を比較する。					
			従来技術	新技術	短縮日数		
目	品質・出来形	施工日数(工事量当り)	日	日	日		
		評価点 $=100+100 \times \text{短縮日数} / \text{従来技術の施工日数}$ $=100+100 \times \quad / \quad = \quad (\text{点})$					
		調査内容	評価点				
		●品質は向上したか?	+2	+1	0	-1	-2
		●出来形・精度は向上したか?	+2	+1	0	-1	-2
		●耐久性は向上したか?	+2	+1	0	-1	-2
		●品質・出来形の管理項目は減少したか?	+2	+1	0	-1	-2
		●品質・出来形の管理頻度は減少したか?	+2	+1	0	-1	-2
		●その他 ( )	+2	+1	0	-1	-2
		評価点 $=100+50 \times \text{合計点} / 5 \text{ or } 6 (\text{その他を選んだときは6とする})$ $=100+50 \times \quad / \quad = \quad (\text{点})$					

調 査 項 目	安全 性	調査内容	評価点				
		●墜落・転落事故の危険性が減少したか？	+2	+1	0	-1	-2
		●重機災害の危険性が減少したか？	+2	+1	0	-1	-2
		●飛来・落下物災害の危険性が減少したか？	+2	+1	0	-1	-2
		●作業環境が向上したか？（暗がり・騒音・狭所作業等の減少）	+2	+1	0	-1	-2
		●危険物等の取り扱いが減少したか？	+2	+1	0	-1	-2
		●その他 ( )	+2	+1	0	-1	-2
評価点 =100+50×合計点/5 or 6（その他を選んだときは6とする） =100+50× / = (点)							
施 工 性	施 工 性	調査内容	評価点				
		●現場での施工が減少したか？	+2	+1	0	-1	-2
		●仮設工が減少したか？	+2	+1	0	-1	-2
		●作業員の負担が減少したか？	+2	+1	0	-1	-2
		●熟練度に依存した工程が減少したか？	+2	+1	0	-1	-2
		●施工の機械化の程度は向上したか？	+2	+1	0	-1	-2
		●その他 ( )	+2	+1	0	-1	-2
評価点 =100+50×合計点/5 or 6（その他を選んだときは6とする） =100+50× / = (点)							
環 境	環 境	調査内容	評価点				
		●周辺の大気汚染・土壌汚染、水質汚染が減少したか？	+2	+1	0	-1	-2
		●騒音・震動・粉塵、交通規制等が減少したか？	+2	+1	0	-1	-2
		●周辺の自然・生態環境、景観との調和は向上したか？	+2	+1	0	-1	-2
		●産業廃棄物の発生量は減少したか？ (リサイクル性の向上)	+2	+1	0	-1	-2
		●省エネルギー、省資源化が向上したか？	+2	+1	0	-1	-2
		●その他 ( )	+2	+1	0	-1	-2
評価点 =100+50×合計点/5 or 6（その他を選んだときは6とする） =100+50× / = (点)							

※調査内容に対する評価点は5段階評価とし、該当する番号に○印をつける。

従来技術に比べ優れている（+2）

〃 やや優れている（+1）

〃 同等程度である（±0）

〃 やや劣っている（-1）

〃 劣っている（-2）